

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|-------------------|
| 学校名 | 国際ファッションビューティ専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人ティビィシー学院 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|-----------|------------------------------------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 衛生専門課程 | メイク・ネイル学科 メイクコース | 夜・通信 | 1, 836 単位時間 | 160 単位時間 | |
| | メイク・ネイル学科 ネイルコース | 夜・通信 | 1, 872 単位時間 | 160 単位時間 | |
| | メイク・ネイル学科 ビューティアドバイザーコース | 夜・通信 | 1, 836 単位時間 | 160 単位時間 | |
| | トータルビューティ学科 | 夜・通信 | 1, 932 単位時間 | 160 単位時間 | |
| 文化・教養専門課程 | ブライダルスベシャリスト学科 ブライダルコーディネーターコース | 夜・通信 | 1, 780 単位時間 | 160 単位時間 | |
| | ブライダルスベシャリスト学科 ウェディングプランナーコース | 夜・通信 | 1, 756 単位時間 | 160 単位時間 | |
| | ファッション学科 ファッションデザイナーコース | 夜・通信 | 1, 764 単位時間 | 160 単位時間 | |
| | ファッション学科 スタイリストコース | 夜・通信 | 1, 764 単位時間 | 160 単位時間 | |
| | ファッション学科 ショップ店員コース | 夜・通信 | 1, 750 単位時間 | 160 単位時間 | |
| | 国際ファッション ビジネス学科 | 夜・通信 | 1, 720 単位時間 | 160 単位時間 | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|---|
| 刊行物「高等教育の修学支援新制度に伴う公表書類一覧」を本校1階ロビーに設置することとし、誰でも閲覧可能な状態に据え置く |
|---|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|-------------------|
| 学校名 | 国際ファッションビューティ専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人ティビィシィ学院 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学院ホームページにて公開
<http://www.tbc-gakuin.jp/>

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|---------|----------------------|---------------------|
| 非常勤 | 会社役員 | 平成30年5月29日～令和3年5月28日 | 教職員の勤怠管理 |
| 非常勤 | 会社代表取締役 | 平成30年5月29日～令和3年5月28日 | 校外学習の企画・運営 |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|-------------------|
| 学校名 | 国際ファッションビューティ専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人ティビィシィ学院 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|--|--|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバス作成ガイドラインに沿って、各授業科目担当者がシラバスを作成し、「学習指導部」により、ガイドラインに沿って作成されているか、内容は適正か、第三者の目で審査を行う。</p> <p>学習指導部の審査後、学生分印刷を行い、年度初めの授業で学生に配布・説明を行っている。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | <p>刊行物「高等教育の修学支援新制度に伴う公表書類一覧」を本校1階ロビーに設置することとし、誰でも閲覧可能な状態に据え置く</p> |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価</p> <p>1) 成績評価は、原則として科目ごとに前期・後期および通年で行う。 (注)同一名称でも、末尾にⅠ・Ⅱ、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。</p> <p>2) 成績評価は、検定取得、平素の授業態度、確認テスト、出課率、課題提出、定期テスト等の状況・結果によって行う。</p> <p>3) 評価方法・評価基準</p> <p>①成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、Dは不合格とする。</p> <p>②検定関連科目は、検定の結果を中心に評価する。</p> <p>③検定のない科目は、科目終了時に試験・レポート等を実施する。</p> <p>④検定結果によらない科目では、おおむね以下の基準に従って評価する</p> <p>A：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が優秀な者 (100点～80点)</p> <p>B：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が良好な者 (80点未満～70点)</p> <p>C：科目に関する理解および日常態度、出課状況がやや劣る者 (70点未満～60点)</p> <p>D：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が著しく劣る者 (60点未満)</p> <p>⑤70%の出課に満たない科目は評価の対象としない。</p> <p>成績評価会議 「学習指導部」により、学生の成績が公平・公正につけられているか、第三者の目で審査を行う</p> | |

| | | | |
|---|--|--|--------------------|
| <p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> | | | |
| <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、学業成績をはかる基準として、授業科目ごとの成績を、前期、後期(通年)の年2回、以下の算出方法により、点数(100点満点)化し、全科目の合計点の平均を算出している(成績評点制度)</p> <p><各授業科目の成績評点算出方法></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;"> <p>① テストの実点数(100点満点) × 成績評価割合 = 成績評点</p> <p>② 課題提出評価点(100点満点) × 成績評価割合 = 成績評点</p> <p>③ 授業姿勢評価点(100点満点) × 成績評価割合 = 成績評点</p> </td> <td style="width: 30%; vertical-align: middle; text-align: center;"> <p>} 合計 = 成績評点</p> </td> </tr> </table> <p>※①～③の成績評価割合(合計100%)は、各授業担当者が設定(シラバスに明記)</p> <p><全科目の合計点の平均の算出方法></p> <p>全科目の合計点 ÷ 授業科目数 = 平均点</p> | | <p>① テストの実点数(100点満点) × 成績評価割合 = 成績評点</p> <p>② 課題提出評価点(100点満点) × 成績評価割合 = 成績評点</p> <p>③ 授業姿勢評価点(100点満点) × 成績評価割合 = 成績評点</p> | <p>} 合計 = 成績評点</p> |
| <p>① テストの実点数(100点満点) × 成績評価割合 = 成績評点</p> <p>② 課題提出評価点(100点満点) × 成績評価割合 = 成績評点</p> <p>③ 授業姿勢評価点(100点満点) × 成績評価割合 = 成績評点</p> | <p>} 合計 = 成績評点</p> | | |
| <p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p> | <p>刊行物「高等教育の修学支援新制度に伴う公表書類一覧」を本校1階ロビーに設置することとし、誰でも閲覧可能な状態に据え置く</p> | | |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> | | | |
| <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>『卒業・進級基準』</p> <p>次の1)～6)の全てを満たすことにより卒業・進級の対象とするとなる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 通年の成績評価が全てC以上であること。 2) 各学科により指定された認定試験に合格すること。(該当する場合のみ受験) 3) 各学科により指定された基準検定を取得すること。 4) 90%以上の出席率であること。 5) 各科目それぞれ70%以上の出課率および80%以上の総出課率であること。 6) 学費、その他学校納付金の納入が完了していること。 | | | |
| <p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p> | <p>刊行物「高等教育の修学支援新制度に伴う公表書類一覧」を本校1階ロビーに設置することとし、誰でも閲覧可能な状態に据え置く</p> | | |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|-------------------|
| 学校名 | 国際ファッションビューティ専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人ティビィシー学院 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | 学院ホームページにて公開 http://www.tbc-gakuin.jp/ |
| 収支計算書又は損益計算書 | 学院ホームページにて公開 http://www.tbc-gakuin.jp/ |
| 財産目録 | 学院ホームページにて公開 http://www.tbc-gakuin.jp/ |
| 事業報告書 | 学院ホームページにて公開 http://www.tbc-gakuin.jp/ |
| 監事による監査報告（書） | 学院ホームページにて公開 http://www.tbc-gakuin.jp/ |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|---------------------|--------------|-------------|-----------|-----------|
| 衛生 | | 衛生専門課程 | メイク・ネイル学科 メイクコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1, 836 単位時間 | 459 単位時間 | 1269 単位時間 | 108 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 1, 836 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人の内数 | | 7人 | 0人 | 2人の内数 | 3人の内数 | 5人の内数 | |

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|---------------------|--------------|------------|-----------|-----------|
| 衛生 | | 衛生専門課程 | メイク・ネイル学科 ネイルコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1, 872 単位時間 | 427 単位時間 | 1355 単位時間 | 90 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 1, 872 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人の内数 | | 8人 | 0人 | 2人の内数 | 3人の内数 | 5人の内数 | |

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|-----------------------------|--------------|-------------|-----------|-----------|
| 衛生 | | 衛生専門課程 | メイク・ネイル学科 ビューティアドバイザーコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1, 836 単位時間 | 519 単位時間 | 1209 単位時間 | 108 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 1, 836 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人の内数 | | 6人 | 0人 | 2人の内数 | 3人の内数 | 5人の内数 | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <p>シラバス作成ガイドラインに沿って、各授業科目担当者がシラバスを作成し、「学習指導部」により、ガイドラインに沿って作成されているか、内容は適正か、第三者の目で審査を行う。</p> <p>学習指導部の審査後、学生分印刷を行い、年度初めの授業で学生に配布・説明を行っている。</p> |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>（概要）</p> <p>成績評価</p> <p>1) 成績評価は、原則として科目ごとに前期・後期および通年で行う。 （注）同一名称でも、末尾にⅠ・Ⅱ、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。</p> <p>2) 成績評価は、検定取得、平素の授業態度、確認テスト、出課率、課題提出、定期テスト等の状況・結果によって行う。</p> <p>3) 評価方法・評価基準</p> <p>①成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、Dは不合格とする。</p> <p>②検定関連科目は、検定の結果を中心に評価する。</p> <p>③検定のない科目は、科目終了時に試験・レポート等を実施する。</p> <p>④検定結果によらない科目では、おおむね以下の基準に従って評価する</p> <p>A：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が優秀な者 （100点～80点）</p> <p>B：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が良好な者 （80点未満～70点）</p> <p>C：科目に関する理解および日常態度、出課状況がやや劣る者 （70点未満～60点）</p> <p>D：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が著しく劣る者 （60点未満）</p> <p>⑤70%の出課に満たない科目は評価の対象としない。</p> <p>成績評価会議</p> <p>「学習指導部」により、学生の成績が公平・公正につけられているか、第三者の目で審査を行う</p> |
| 卒業・進級の認定基準 |
| <p>（概要）</p> <p>『卒業・進級基準』</p> <p>次の1)～6)の全てを満たすことにより卒業・進級の対象とするとなる</p> <p>1) 通年の成績評価が全てC以上であること。</p> <p>2) 各学科により指定された認定試験に合格すること。（該当する場合のみ受験）</p> <p>3) 各学科により指定された基準検定を取得すること。</p> <p>4) 90%以上の出席率であること。</p> <p>5) 各科目それぞれ70%以上の出課率および80%以上の総出課率であること。</p> <p>6) 学費、その他学校納付金の納入が完了していること。</p> |
| 学修支援等 |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制を導入し、個人面談、三者面談を適時実施。 ・各種検定前には、検定対策補講を実施。 |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 7人 (100%) | 0人 (0%) | 6人 (85.7%) | 1人 (14.3%) |
| (主な就職、業界等) (株)小倉呉服店、東武宇都宮百貨店、(株)イービーエム、(株)ノエビア、 (株)フォウルビ、ジャパンプランナー(株)など | | | |
| (就職指導内容) 就職研修（面接指導、ビジネスマナー講義）、就職先紹介、企業実習の実施など | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) ジェルネイル検定初級 100% (7/7) メイクアップ技術検定2級 100% (4/5) | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 22人 | 2人 | 9.09% |
| (中途退学の主な理由) 経済的理由・進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に個人面談および三者面談を行い、保護者と連携した指導を行っている。 退学防止委員会を設置し、学生情報の共有化を図り、学校として学生とともに問題解決を図るべく努力をしている。 | | |

| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
|----------|--------|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| 衛生 | 衛生専門課程 | トータルビューティ学科 | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1,932 単位時間 | 969 単位時間 | 495 単位時間 | 468 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 1,932単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 36人 | 23人 | 0人 | 2人 | 3人 | 5人 | | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <p>シラバス作成ガイドラインに沿って、各授業科目担当者がシラバスを作成し、「学習指導部」により、ガイドラインに沿って作成されているか、内容は適正か、第三者の目で審査を行う。</p> <p>学習指導部の審査後、学生分印刷を行い、年度初めの授業で学生に配布・説明を行っている。</p> |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>（概要）</p> <p>成績評価</p> <p>1) 成績評価は、原則として科目ごとに前期・後期および通年で行う。 （注）同一名称でも、末尾にⅠ・Ⅱ、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。</p> <p>2) 成績評価は、検定取得、平素の授業態度、確認テスト、出課率、課題提出、定期テスト等の状況・結果によって行う。</p> <p>3) 評価方法・評価基準</p> <p>①成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、Dは不合格とする。</p> <p>②検定関連科目は、検定の結果を中心に評価する。</p> <p>③検定のない科目は、科目終了時に試験・レポート等を実施する。</p> <p>④検定結果によらない科目では、おおむね以下の基準に従って評価する</p> <p>A：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が優秀な者 （100点～80点）</p> <p>B：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が良好な者 （80点未満～70点）</p> <p>C：科目に関する理解および日常態度、出課状況がやや劣る者 （70点未満～60点）</p> <p>D：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が著しく劣る者 （60点未満）</p> <p>⑤70%の出課に満たない科目は評価の対象としない。</p> <p>成績評価会議</p> <p>「学習指導部」により、学生の成績が公平・公正につけられているか、第三者の目で審査を行う</p> |
| 卒業・進級の認定基準 |
| <p>（概要）</p> <p>『卒業・進級基準』</p> <p>次の1)～6)の全てを満たすことにより卒業・進級の対象とするとなる</p> <p>1) 通年の成績評価が全てC以上であること。</p> <p>2) 各学科により指定された認定試験に合格すること。（該当する場合のみ受験）</p> <p>3) 各学科により指定された基準検定を取得すること。</p> <p>4) 90%以上の出席率であること。</p> <p>5) 各科目それぞれ70%以上の出課率および80%以上の総出課率であること。</p> <p>6) 学費、その他学校納付金の納入が完了していること。</p> |
| 学修支援等 |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制を導入し、個人面談、三者面談を適時実施。 ・各種検定前には、検定対策補講を実施。 |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 11人 (100%) | 0人 (0%) | 11人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) FAVORIX（株）、（株）オリーブスパ、TBCグループ（株）など | | | |
| (就職指導内容) 就職研修（面接指導、ビジネスマナー講義）、就職先紹介、企業実習の実施など | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 日本エステティック協会認定上級エステティシャン 100% (10/10) 日本エステティック業協会上級認定エステティシャン 100% (10/10) など | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 26人 | 1人 | 0.04% |
| (中途退学の主な理由) | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に個人面談および三者面談を行い、保護者と連携した指導を行っている。 退学防止委員会を設置し、学生情報の共有化を図り、学校として学生とともに問題解決を図るべく努力をしている。 | | |

| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
|----------|-----------|------------------------------------|-------------|--------------|------------|-----------|-----------|
| 文化・教養 | 文化・教養専門課程 | ブライダルスペシャリスト学科 ブライダルコーディネイターコース | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1,780 単位時間 | 512 単位時間 | 1248 単位時間 | 20 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 1,860単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 44人の内数 | 19人 | 0人 | 2人の内数 | 6人の内数 | 8人の内数 | | |

| | | | | | | | |
|----------|-----------|----------------------------------|-------------|--------------|------------|-----------|-----------|
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 文化・教養 | 文化・教養専門課程 | ブライダルスペシャリスト学科 ウェディングプランナーコース | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1, 756 単位時間 | 576 単位時間 | 1140 単位時間 | 40 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 1, 756単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 44人の内数 | 12人 | 0人 | 2人の内数 | 5人の内数 | 7人の内数 | | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <p>シラバス作成ガイドラインに沿って、各授業科目担当者がシラバスを作成し、「学習指導部」により、ガイドラインに沿って作成されているか、内容は適正か、第三者の目で審査を行う。</p> <p>学習指導部の審査後、学生分印刷を行い、年度初めの授業で学生に配布・説明を行っている。</p> |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>（概要）</p> <p>成績評価</p> <p>1) 成績評価は、原則として科目ごとに前期・後期および通年で行う。 （注）同一名称でも、末尾にⅠ・Ⅱ、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。</p> <p>2) 成績評価は、検定取得、平素の授業態度、確認テスト、出課率、課題提出、定期テスト等の状況・結果によって行う。</p> <p>3) 評価方法・評価基準</p> <p>①成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、Dは不合格とする。</p> <p>②検定関連科目は、検定の結果を中心に評価する。</p> <p>③検定のない科目は、科目終了時に試験・レポート等を実施する。</p> <p>④検定結果によらない科目では、おおむね以下の基準に従って評価する</p> <p>A：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が優秀な者 （100点～80点）</p> <p>B：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が良好な者 （80点未満～70点）</p> <p>C：科目に関する理解および日常態度、出課状況がやや劣る者 （70点未満～60点）</p> <p>D：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が著しく劣る者 （60点未満）</p> <p>⑤70%の出課に満たない科目は評価の対象としない。</p> <p>成績評価会議</p> <p>「学習指導部」により、学生の成績が公平・公正につけられているか、第三者の目で審査を行う</p> |

| |
|---|
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 『卒業・進級基準』 次の1)～6)の全てを満たすことにより卒業・進級の対象とするとなる 1) 通年の成績評価が全てC以上であること。 2) 各学科により指定された認定試験に合格すること。(該当する場合のみ受験) 3) 各学科により指定された基準検定を取得すること。 4) 90%以上の出席率であること。 5) 各科目それぞれ70%以上の出課率および80%以上の総出課率であること。 6) 学費、その他学校納付金の納入が完了していること。 |
| 学修支援等 |
| (概要) ・クラス担任制を導入し、個人面談、三者面談を適時実施。 ・各種検定前には、検定対策補講を実施。 |

| | | | |
|---|------------|-------------------|--------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載) | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 16人 (100%) | 0人 (0%) | 15人 (93.7%) | 1人 (6.3%) |
| (主な就職、業界等) (株)ベスト・アニバーサリー (株)エスクリ、(株)スカイパレスアソシエイツ (株)クランベルホテル (株)不二ビューティ、TBCグループ(株)など | | | |
| (就職指導内容) 就職研修(面接指導、ビジネスマナー講義)、就職先紹介、企業実習の実施など | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) アシスタントブライダルコーディネーター 100%(17/17) ブライダルコーディネーター3級(国家検定) 81.3%(13/16) | | | |
| (備考)(任意記載事項) | | | |

| | | |
|--|----------------|------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 29人 | 1人 | 3.4% |
| (中途退学の主な理由) 経済的理由・進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に個人面談および三者面談を行い、保護者と連携した指導を行っている。 退学防止委員会を設置し、学生情報の共有化を図り、学校として学生とともに問題解決を図るべく努力をしている。 | | |

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|---------------------------|--------------|-------------|-----------|-----------|
| 文化・教養 | | 文化・教養専門課程 | ファッション学科 ファッションデザインコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1,764 単位時間 | 540 単位時間 | 1116 単位時間 | 108 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 1,764単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人の内数 | | 6人 | 0人 | 2人の内数 | 5人の内数 | 7人の内数 | |

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|-----------------------|--------------|-------------|-----------|-----------|
| 文化・教養 | | 文化・教養専門課程 | ファッション学科 スタイリストコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1,764 単位時間 | 540 単位時間 | 1116 単位時間 | 108 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 1,764単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人の内数 | | 1人 | 0人 | 2人の内数 | 5人の内数 | 7人の内数 | |

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|-----------------------|--------------|-------------|-----------|-----------|
| 文化・教養 | | 文化・教養専門課程 | ファッション学科 ショップ店員コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1,750 単位時間 | 540 単位時間 | 1102 単位時間 | 108 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 1,750単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人の内数 | | 11人 | 0人 | 2人の内数 | 5人の内数 | 7人の内数 | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <p>シラバス作成ガイドラインに沿って、各授業科目担当者がシラバスを作成し、「学習指導部」により、ガイドラインに沿って作成されているか、内容は適正か、第三者の目で審査を行う。</p> <p>学習指導部の審査後、学生分印刷を行い、年度初めの授業で学生に配布・説明を行っている。</p> |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>（概要）</p> <p>成績評価</p> <p>1) 成績評価は、原則として科目ごとに前期・後期および通年で行う。 （注）同一名称でも、末尾にⅠ・Ⅱ、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。</p> <p>2) 成績評価は、検定取得、平素の授業態度、確認テスト、出課率、課題提出、定期テスト等の状況・結果によって行う。</p> <p>3) 評価方法・評価基準</p> <p>①成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、Dは不合格とする。</p> <p>②検定関連科目は、検定の結果を中心に評価する。</p> <p>③検定のない科目は、科目終了時に試験・レポート等を実施する。</p> <p>④検定結果によらない科目では、おおむね以下の基準に従って評価する</p> <p>A：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が優秀な者 （100点～80点）</p> <p>B：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が良好な者 （80点未満～70点）</p> <p>C：科目に関する理解および日常態度、出課状況がやや劣る者 （70点未満～60点）</p> <p>D：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が著しく劣る者 （60点未満）</p> <p>⑤70%の出課に満たない科目は評価の対象としない。</p> <p>成績評価会議</p> <p>「学習指導部」により、学生の成績が公平・公正につけられているか、第三者の目で審査を行う</p> |
| 卒業・進級の認定基準 |
| <p>（概要）</p> <p>『卒業・進級基準』</p> <p>次の1)～6)の全てを満たすことにより卒業・進級の対象とするとなる</p> <p>1) 通年の成績評価が全てC以上であること。</p> <p>2) 各学科により指定された認定試験に合格すること。（該当する場合のみ受験）</p> <p>3) 各学科により指定された基準検定を取得すること。</p> <p>4) 90%以上の出席率であること。</p> <p>5) 各科目それぞれ70%以上の出課率および80%以上の総出課率であること。</p> <p>6) 学費、その他学校納付金の納入が完了していること。</p> |
| 学修支援等 |
| <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制を導入し、個人面談、三者面談を適時実施。 ・各種検定前には、検定対策補講を実施。 |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 6人 (100%) | 0人 (0%) | 5人 (83.3%) | 1人 (16.6%) |
| (主な就職、業界等) (株)アルページュ、シン(株)、(株)ヨージヤマモト、ハネクートン早川(株)、 (株)アルファベットパステル など | | | |
| (就職指導内容) 就職研修(面接指導、ビジネスマナー講義)、就職先紹介、企業実習の実施など | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) ファッションビジネス検定3級 66.7%(4/6) スタイリングマップ検定ジュニアレベル 50%(3/6) | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 19人 | 3人 | 15.8% |
| (中途退学の主な理由) 経済的理由・進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に個人面談および三者面談を行い、保護者と連携した指導を行っている。 退学防止委員会を設置し、学生情報の共有化を図り、学校として学生とともに問題解決を図るべく努力をしている。 | | |

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|----------------|-----------|-------------|-----------|-----------|
| 文化・教養 | | 文化・教養専門課程 | 国際ファッションビジネス学科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1,720 単位時間 | 1419 単位時間 | 0 単位時間 | 301 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 1,720単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 50人 | | 30人 | 30人 | 1人 | 2人 | 3人 | |

※2019年度に設置した学科の為、1学年にのみ在籍

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| <p>(概要)</p> <p>シラバス作成ガイドラインに沿って、各授業科目担当者がシラバスを作成し、「学習指導部」により、ガイドラインに沿って作成されているか、内容は適正か、第三者の目で審査を行う。</p> <p>学習指導部の審査後、学生分印刷を行い、年度初めの授業で学生に配布・説明を行っている。</p> |
| 成績評価の基準・方法 |
| <p>(概要)</p> <p>成績評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 成績評価は、原則として科目ごとに前期・後期および通年で行う。 (注)同一名称でも、末尾にⅠ・Ⅱ、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。 2) 成績評価は、検定取得、平素の授業態度、確認テスト、出課率、課題提出、定期テスト等の状況・結果によって行う。 3) 評価方法・評価基準 <ol style="list-style-type: none"> ①成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、Dは不合格とする。 ②検定関連科目は、検定の結果を中心に評価する。 ③検定のない科目は、科目終了時に試験・レポート等を実施する。 ④検定結果によらない科目では、おおむね以下の基準に従って評価する <ol style="list-style-type: none"> A：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が優秀な者 (100点～80点) B：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が良好な者 (80点未満～70点) C：科目に関する理解および日常態度、出課状況がやや劣る者 (70点未満～60点) D：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が著しく劣る者 (60点未満) ⑤70%の出課に満たない科目は評価の対象としない。 <p>成績評価会議</p> <p>「学習指導部」により、学生の成績が公平・公正につけられているか、第三者の目で審査を行う</p> |
| 卒業・進級の認定基準 |

| |
|--|
| <p>(概要)</p> <p>『卒業・進級基準』</p> <p>次の1)～6)の全てを満たすことにより卒業・進級の対象とするとなる</p> <p>1) 通年の成績評価が全てC以上であること。</p> <p>2) 各学科により指定された認定試験に合格すること。(該当する場合のみ受験)</p> <p>3) 各学科により指定された基準検定を取得すること。</p> <p>4) 90%以上の出席率であること。</p> <p>5) 各科目それぞれ70%以上の出課率および80%以上の総出課率であること。</p> <p>6) 学費、その他学校納付金の納入が完了していること。</p> |
| <p>学修支援等</p> |
| <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制を導入し、個人面談、三者面談を適時実施。 ・各種検定前には、検定対策補講を実施。 |

| | | | |
|-----------------------------|-----------|-------------------|-----------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載) | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 人 (%) | 0人 (%) | 人 (%) | 0人 (%) |
| (主な就職、業界等) (| | | |
| (就職指導内容) | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) | | | |
| (備考)(任意記載事項) | | | |

※2019年度に設置した学科の為、報告事項なし

| | | |
|----------------------------------|----------------|-----|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 22人 | 8人 | 36% |
| (中途退学の主な理由) オーバーワーク、行方不明、病気など | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) | | |
| 1人1人とのコミュニケーションを取るようにする。 | | |

※2019年度に設置した学科の為、報告事項なし

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|--|-----------|-------------|-----------|-------------|
| メイク・ネイル学科 | 100,000 円 | 600,000 円 | 240,000 円 | 施設設備費 |
| トータルビューティ学科 | | | | |
| ブライダルスペシャリスト学科 | | | | |
| ファッション学科 | | | | |
| 国際ファッションビジネス学科 | | | 190,000 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| 学費給付試験制度・家賃支援奨学金制度・家族入学奨学金制度・卒業生奨学金制度・奨学生試験の実施 | | | | |

b) 学校評価

| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.fashionpet.ac.jp/fashion/information/ | | |
|--|--------------------------|-------|
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) | | |
| <p>1. 委員会の目的と役割</p> <p>(1) 学校の現状と課題を明らかにする。</p> <p>(2) 教職員による自己評価について評価する。</p> <p>(3) 自己評価の客観性・透明性を高める。</p> <p>(4) 今後の学校運営の改善、教育力の向上に役立てる。</p> <p>2. 委嘱期間 1年間</p> <p>3. 開催回数 年1回 (必要があれば臨時の委員会)</p> <p>4. 開催時間 2時間程度</p> <p>5. 守秘義務 会議で知り得た個人情報並びに秘密情報を外部に漏らしてはならない。委員を退いた後も同様とする。</p> <p>6. 公開 学校関係者評価委員は、その氏名や所属を「職業実践専門課程」認定規定に限定して公開される。</p> | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 日本ブライダル文化振興協会 | 2020年4月1日～ 2021年3月31日 | 企業等委員 |
| アークデザイン事務所 | 2020年4月1日～ 2021年3月31日 | 企業等委員 |
| 株式会社鈴屋 専務取締役 | 2020年4月1日～ 2021年3月31日 | 企業等委員 |
| Flicka*Nail 店長 | 2020年4月1日～ 2021年3月31日 | 企業等委員 |
| 保護者代表 (PTA会長) | 2020年4月1日～ 2021年3月31日 | PTA |
| 卒業生代表 | 2020年4月1日～ 2021年3月31日 | 卒業生 |

| |
|---|
| 学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) |
| http://www.fashionpet.ac.jp/fashion/information/ |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) |
| |

c) 当該学校に係る情報

| |
|---|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) |
| http://www.fashionpet.ac.jp/fashion/ |

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

| | |
|------|-------------------|
| 学校名 | 国際ファッションビューティ専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人ティビィシー学院 |

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

| | | 前半期 | 後半期 | 年間 |
|--------------------|------|-----|-----|----|
| 支援対象者（家計急変による者を除く） | | 人 | 人 | 人 |
| 内 訳 | 第Ⅰ区分 | 人 | 人 | |
| | 第Ⅱ区分 | 人 | 人 | |
| | 第Ⅲ区分 | 人 | 人 | |
| 家計急変による支援対象者（年間） | | | | 人 |
| 合計（年間） | | | | 人 |
| (備考) | | | | |

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|----|---|
| 年間 | 人 |
|----|---|

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

| | 右以外の大学等 | | |
|---|---------|-----|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修業年限で卒業又は修了できないことが確定 | 人 | 人 | 人 |
| 修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下) | 人 | 人 | 人 |
| 出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況 | 人 | 人 | 人 |
| 「警告」の区分に連続して該当 | 人 | 人 | 人 |
| 計 | 人 | 人 | 人 |
| (備考) | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

| 右以外の大学等 | | 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | | | |
|---------|---|---|---|-----|---|
| 年間 | 人 | 前半期 | 人 | 後半期 | 人 |
| | | | | | |

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|---------|---|
| 退学 | 人 |
| 3月以上の停学 | 人 |
| 年間計 | 人 |

| |
|------|
| (備考) |
|------|

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

| | |
|---------|---|
| 3月未満の停学 | 人 |
| 訓告 | 人 |
| 年間計 | 人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | |
|---|---------|---|-----|
| | | 年間 | 前半期 |
| 修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下) | 人 | 人 | 人 |
| GPA等が下位4分の1 | 人 | 人 | 人 |
| 出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況 | 人 | 人 | 人 |
| 計 | 人 | 人 | 人 |

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。